



いすぐみだより 3月号

ぽかぽかとした春の陽気が感じられる季節となりました。子ども達は散歩に出かけると、春の草花や虫を見つけては嬉しそうに報告してくれます。



春の花や虫を探しに公園へ出掛けました。「ちょうちょ」や「おはながわらった」を歌いながら散歩し、途中でブタナを見つけると A さんは「葉っぱ!」と指を差して見ていました。友達が手を伸ばして花を触っているのを見てると、A さんも同じように指でツンツンと触っていました。

公園に到着し保育者が「タンポポあるかな?」と言いながらタンポポを探していると、B さんは「あーかなー? (あるかな)」と言いながら周りをキョロキョロしながら一緒にタンポポを探していました。タンポポを見つけると「あった!」と指を差し、嬉しそうに伝えてくれました。

花や蕾など気になるものがあると「これは?」と聞いたり、触ってみたりしながら春の自然にたくさん触れて遊びました。



「あった!」とタンポポを見つけると、友達においで〜と手招きし、「ここ!」とタンポポを見つけたことを知っていました。



友達全員分のコップを用意して、一人ずつに「どーぞ!」と言いながら渡していききました。「カンパーイ!」と言いながらコップをコソソとならし、ジュースを飲んでいました。



少しずつ積み木を積み込むことのできる数が増えてきました。倒れてしまっても「かいつ! (もう一回)」と何度も最初から積みなおしています。

入園当初は初めての園生活に戸惑い、泣いていた子ども達でしたが、今では笑顔で登園し友達と一緒に遊ぶ姿が見られるようになってきました。子ども達の成長を保護者の皆様と見守り、喜びを分かち合えたことを嬉しく思います。

最後になりましたが、子ども達の更なる成長を楽しみにしています。一年間ありがとうございました。

大森 樹世

高野 なつき

